

くにたちの教育

第175号

発行・編集／
国立市教育委員会

〒186-8501 国立市富士見台 2-47-1
https://www.city.kunitachi.tokyo.jp/
電話 (576) 2111 / FAX (576) 3277

記事PDFと音訳版は
教育委員会▶
ホームページ
教育広報
「くにたちの教育」



ご入学おめでとうございます！



学校別新1年生 (令和6年4月7日現在)

小学校	一小	二小	三小	四小	五小	六小	七小	八小	計
児童数	78	102	76	51	89	56	41	46	539
中学校	一中	二中	三中	計	(人)				
生徒数	147	160	129	436					

(人)

4月8日(月)に小学校で、4月9日(火)に中学校で入学式が行われました。子供たちの表情は少しの緊張と嬉しそうな笑顔であふれていました。学びと成長を続ける子供たちの活躍が今からとても楽しみです。

教育総務課

令和6年度(令和7年1月実施)くにはたちの集い(旧成人式)の準備会メンバーを募集しています！

令和7年1月13日(月・祝)に開催されるくにはたちの集い(旧成人式)に向け、準備会メンバーを募集しています。

準備会では、くにはたちの集いの企画・運営(当日実施するイベントの企画や司会)、参加者に配布するプログラムのデザインなどを、メンバーみんなで話し合っています。

準備会の活動は8月末ごろから、月に2回程度行う予定です。

昨年度の準備会メンバーからは、「準備会のような活動を初めてやってみたが、達成感がありいい経験になった。」「決めるべきことなどを市の職員の方が誘導してくれたおかげで、楽しくできた。」「準備会を通じて、今までの人生で、出会うことがなかった人と出会うことができた。」などの感想をいただきました。

準備会のメンバーになることで、今まで関わりのなかった違う小中学校の同世代や留学生と知り合えたり、みんなで協力して一つのことを成し遂げる経験ができます。

関心のある方は電話またはメールで下記までご連絡ください。

対象者 平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれの方

メール oubo_shogaigakushu@city.kunitachi.lg.jp



▲準備会詳細ページ



▲応募メールアドレス



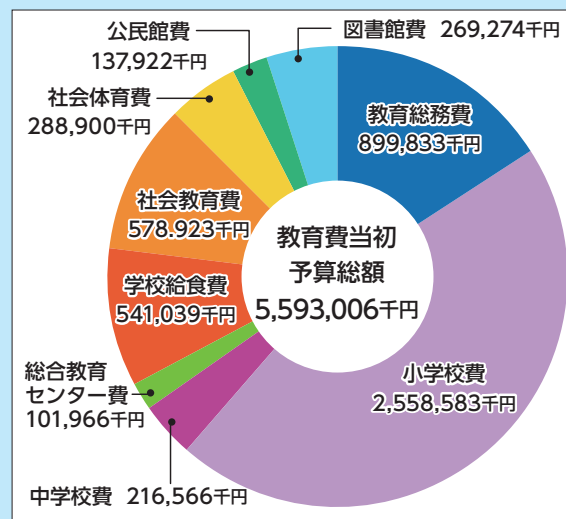
↑昨年度の準備会企画(くにたちクイズdeビンゴの様子)

←昨年度くにはたちの集いの様子

生涯学習課社会教育・文化芸術係 ☎ 576-2111 (内線 323)

令和6年度 教育費予算について

令和6年度の教育施策は、前年度に引き続いて、国立第二小学校の校舎改築工事および校舎非構造部材の耐震化工事、貴重な文化財である旧本田家住宅の復原工事等を実施します。また、食材費等高騰に伴う学校給食費の補助事業や、生徒の英語力向上のための日常英会話体験プログラムを実施します。令和6年度に実施する主な事業について、いくつか抜粋して紹介します。



令和6年度の教育費当初予算総額は、**55億9300万6千円**です。

国立第二小学校建て替え工事を行っています。

令和5年4月より、老朽化した国立第二小学校（昭和38年築）の建て替え工事を行っており、令和6年12月に新しい校舎が完成する予定です。3学期から新校舎での生活をスタートできるように、工事を進めるとともに、既存校舎からの引越しや児童の机・椅子をはじめとした新しい備品什器の整備等を行います。

教育総務課 市立中学校体育館の開放を始めます。

市内団体のスポーツ・レクリエーションの機会拡大を図るため、学校行事や部活動などで使用しない時間帯に、市立中学校体育館の開放を始めます。開放は10月からを予定しています。

生涯学習課 コミュニティ・スクールを設置します。

令和6年度、国立第四小学校及び国立第三中学校においてコミュニティ・スクー

ル（学校運営協議会制度）を導入し、以降3年間ですべての市立小・中学校にコミュニティ・スクールを設置することを目指します。地域学校協働活動の一つとして、これまで行ってきた小学校第5学年以上を対象とした放課後学習支援教室も継続していきます。

教育指導支援課

国立市のフルインクルシブ教育「一人一人がその子らしくいられる教育」に取り組みます。

「一人一人がその子らしくいられる教育」の方向性を定めていくために、様々な立場の皆様と丁寧な対話を積み重ねていきます。また、これまで同様に、通常の学級において共に学ぶ際に支援を行うスマイリースタッフ、介助員、訪問看護師等を確保するとともに、言語聴覚士や作業療法士による巡回指導を実施します。

教育指導支援課

生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図ります。

立川に開業した「TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS」において実施するネイティブスピーカーによる日常英会話のプログラムを、中学校第1学年の全生徒が体験できるようにします。

教育指導支援課



無償提供いただいた北海道産ホタテを小中学校給食に！

～市内イタリアンシェフとのコラボ給食～

国外への輸出量が減ったことで、出荷できなくなった北海道産ホタテを、日本海老協会から無償提供していただきました。国立市内イタリアンシェフの方からホタテメニューを提案していただき、4月26日に『ホタテとブロッコリーのホワイトシチュー』を作り、児童生徒に美味しいホタテ料理をお届けしました。



4月12日(金)

入学進級お祝い献立

お祝い献立メニュー

小学校 鯖のねぎ味噌焼き 中学校 鯖の竜田揚げ

共通メニュー

炊き込み赤飯・若竹汁・さやいんげん胡麻マヨネーズ和え
紅白大福・低温殺菌牛乳



▲小学校給食



▲中学校給食

春に美味しい食材を組み合わせました。紅白大福のデザート付きで、学校給食でも入学進級をお祝いしました。

女性消防団員に小学校の救急救命講習にご参加いただきました



福岡県の小学校給食で起きた窒息事故を受け、今年度の各小学校教職員向け救急救命講習では、地域の女性消防団員の方々にご参加いただきました。講習では、食物がのどに詰まったときの対処法を実技を含めて指導していただきました。



学校給食を試食してみませんか？

食育推進・給食ステーションは、オープンしてもうすぐ1年を迎えます。ピカピカのカムカムキッチンで、学校給食を試食してみませんか。ご希望に応じて、施設見学や栄養士の講話・意見交換等も行っております。皆さんお誘いあわせの上、お申し込みください。

実施日	学校給食実施日
場所	給食ステーションまたは各学校
人数	30名程度まで／回
参加費	
小学校低学年	263円
小学校中学年	286円
小学校高学年	308円
中学校	345円
申込期限	試食会の1週間前まで
申込先	食育推進・給食ステーション ☎572-4177



おいしい給食 たのしい給食

★試食してみませんか★

子どもたちのすこやかな成長を願っています

安心安全

特色ある学校づくりを目指しています

令和6年度 国立市立小・中学校

※各学校のホームページ随時更新中！是非ご覧ください！

国立第一小学校



中村理明 校長

明治6年「潤沢学舎」として創立し、昨年度、創立150周年を迎えました。151年目の本年、本校の児童や保護者及び地域の方とともに新たな歴史を築いてまいります。

【教育目標】

○自分で考え すんで活動する子

(本年度重点目標)

○力を合わせて 高め合う子

○思いやりを動かし 元気な子

<教育目標達成のための取組>

○フルインクルーシブ教育の理念に基づいた人権教育の推進と全ての児童に寄り添う特別支援教育の実践

○授業改善と一人1台端末の活用による個別最適な学びと協働的な学びを推進

○コミュニティ・スクールを視野に入れた保護者や地域との協働の推進

・令和6・7年度研究奨励校【国立市教育委員会】



長澤正幸 副校長

国立第二小学校



内田辰彦 校長

【教育目標】

○あたたかく…人間関係形成力の育成

一人一人がその子らしくいられる教育環境

○かしこく…基礎的・基本的な学力の定着

個別最適で協働的な学び

○つよく…体力・創造力・粘り強さの育成

健康的で安心・安全な教育環境

<教育目標達成のための具体的な今年度の取組>

あたたかく

・生活指導の充実(いじめ防止、二小スタンダード、ふわふわ言葉、あいさつ、情報モラルの確立)

・特別支援教育の推進(交流及び共同学習[交流及び共同学習拡充支援事業(東京都)の指定]、理解教育の充実)

・不登校児童へのきめ細かな対応(相談機能の充実・不登校対策としての1人1台端末の活用)

新しい校舎につなぐ教育

かしこく

・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な推進(指導の個別化・学習の個性化・協働的な学び)

・ICTの活用(1人1台端末の活用・デジタル教科書や指導書の活用)5・6年算数の児童用デジタル教科書配布

・1人1台端末活用した家庭学習の充実(AI学習ソフトの活用)モノグラフの活用

・給食準備時間での補習の継続

・総合的な学習の時間の充実(例)SDGsポスターコンクール 新しい校舎につなぐ教育

つよく

・体育授業の充実(校庭の整備 体育用具・施設の充実)



後藤茂敦 副校長

国立第三小学校



苫米地高志 校長

これまでの本校の歴史やよき伝統を着実に受け継ぎながら、子供が「ここで学べてよかった」と実感できる学校を目指していきます。チーム三小の力を結集して、教育目標である「思いやりのある子」「考え実行する子」「健康でたくましい子」を実現させていきます。

【思いやりのある子】の育成

・「自分の大切さとともに、他者の大切さも認めること」を踏まえながら、自己肯定感、他者への共感、感謝の心、生命や自然の偉大さに感動する心などを、子供たちが体験的に実感する教育活動を展開します。

【課題解決に取り組む子】の育成

・子供に身に付けたい資質・能力に焦点を当てた課題に取り組めます。その中で、変化の激しい社会に対応できる自発性、最後までやり抜く力、困難に立ち向かう力などを養っていきます。

【自らの健康を主体的にデザインできる子】の育成

・「運動の楽しさに触れる」「体力の向上を実感する」「チームの仲間と共感する」などの経験を充実させることで、運動能力の向上や心身の健康の保持・増進に向けて、主体的に取り組もうとする意欲を育てます。



野口陽子 副校長

国立第四小学校



牧野陽一郎 校長

【夢いっぱい 感動いっぱい チャレンジいっぱい国立第四小学校】を、合言葉としてすべての教育活動に関連付け、児童に生きる力(知・徳・体)を十分身に付けさせます。

【教育目標】

○よく考え進んで学ぶ子(知)

○自分も友だちも大切にできる子(徳)

○正しく判断し行動できる子(徳)

○体を鍛え最後までやりぬく子(体)

<教育目標達成のための基本方針>

1 問題解決的な学習過程を重視した授業を進めるとともに個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させることで更なる学力の向上を図ります。

2 学校運営協議会を設けたコミュニティ・スクールとして学校経営を進めるとともに、地域の力を活用した体験活動及び環境整備等の充実を図り、「地域とともにある学校づくり」を推進します。

3 命を預かる責任の重さを常に自覚し、一人一人の児童を大切にします。

4 フルインクルーシブ教育を目指した「チャレンジ校」として、児童一人一人の実態に合った適切な学びの場を保障することを教職員が常に意識し教育活動を進めてまいります。

5 道徳教育について「考え、議論する道徳」を推進し、道徳授業の内容充実を図ります。

6 国立市教育委員会研究奨励校の実績を基に、「主体的にチャレンジし、課題を見付け、よりよく解決できる児童の育成」「主体的・対話的で深い学び」特別活動での実践を通して「研究フロンティア」で、特別活動の研究を進めていきます。

7 保護者・地域と一体になって「ウェルビーイング」を目指し、一人一人に寄り添い、心も体も健康な児童を育てます。

<大切にしたいこと>

・人を大切に・時間を大切に・物を大切に・元氣な「あいさつ」・明るく「笑顔」・「スピードは誠意」という意識の対応

・令和6・7年度 東京都教育委員会 体育健康推進校

・令和6年度より学校運営協議会設置



清原周栄 副校長

国立第五小学校



白鳥 聡 校長

<教育目標>

○学びあう子

○助けあう子(本年度重点目標)

○きたえあう子

<目指す学校>

「子供も大人も、ともに学び、ともに育つ学校」

①多様性を理解し、子供たちの個性を生かせる学校

②子供たちが互いに関わり合い、協働的に学ぼうとする学校

③保護者・地域と一緒に考え、しっかり連携する学校

<基本方針>

①子供に寄り添った指導

②子供同士で学ぶこと支援

③保護者・地域との連携

<具体的取組>

・子供たちが自ら気付き、学び取るような学習へ転換

・子供たちがじっくり考え、協働的に学ぶ時間を確保

・保護者の声をしっかり聴き、子供のことを第一に考え、誠実かつ丁寧な対応

・保護者、地域を授業ボランティアとして取り入れ、開かれた学校の推進



新津喜美 副校長

国立第六小学校



小菅和子 校長

どの児童にもいごちのよい居場所があり「学校が楽しい!」となるように、児童・家庭・地域社会・教職員がつながり、教育活動を推進する学校

【教育目標】

○よく考える子:基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、よく考えて行動できる児童の育成を目指す。①基礎学力の向上・定着

②学ぶ楽しさを感じる児童の育成③思考力・判断力・表現力の育成

○なかよく助け合う子(重点目標):他者を思いやる心を持ち、集団生活を通して社会性を身に付け、協働できる子の育成を目指す。

①人権教育の推進②居心地のよい居場所のあるあたたかい学校・学級作り③一人一人の児童の可能性を引き出す特別支援教育の充実

○元気でたくましい子:自分の得意なことがあり、人のために働くことをいとわず、心身ともにたくましい児童の育成を目指す。

①キャリア教育の推進②人や地域のために進んで活動する児童の育成③体育・健康教育の推進

児童が、元気に「いってきます!」笑顔で「ただいま!」と毎日通わせるように「はじめに子どもありき」を大切に全教職員で児童の成長を支えていきます。昨年度自閉症・情緒しようがい等特別支援学級「フンド」が開設しました。児童が安心して学べる場が増えました。予測不能な未来をたくましく生きるために、よく学び、自分も人も大事にする児童を育てていきます。



羽下哲朗 副校長

国立第七小学校



小畑行広 校長

【教育目標】

○かしこく(知)

○やさしく(徳)(本年度の重点目標)

○げんきよく(体)

<学校経営の基本理念>

今、目の前にいる一人一人の児童を大切に、多様性を認め、それぞれの生き方に必要な資質や能力を育成していくため、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を推進し、子供たちに「未来を切り拓く力を身に付けさせる学校」を創ることを学校経営の基本理念といたします。

これまで、教職員を中心に高めてきたパワーアップ・チーム七小から、今年度は、「グレードアップ・チーム七小」として、地域や保護者との連携を強めることを通じて、子供たちの安全と安心を第一に、学校生活と学びを充実させる取組を推進いたします。

<私たち教職員の基本姿勢>

(1)授業力の向上を常に目指します。

・楽しく、分かる授業や「児童が主体となるアクティブな授業」を創造するため、教員一人一人の自己の専門性を見つめ、高める研修を通して授業力を向上させます。

(2)信頼ある開かれた学校づくりに努めます。

児童の実態や状況の把握による「個別最適な学び」の実践と、情報共有による保護者の皆様との協働的な取組を基に、保護者の皆様に寄り添う支援を行い、信頼関係を築きます。

(3)子供の世界や感性を尊重し、育成を図ります。

人の人としての子供の世界観や感性を尊重し、成長の過程にあることを大切にしながら、子供のもち力や可能性を信じて、どこまでも子供たちの自立に向けた指導や支援を行います。

(4)今あるものを常に見直し、改善につなげます。

これからも、必要と判断したものは継続し、改善が必要なものは改善することを通して短期的及び中長期的な見通しを持ち、働き続ける意欲も実現しながら、教育力を高めます。

(5)未来を志向し、共有します。

今年度、開校52年目となり、開校60周年の本校を創立し、見直ししながら、地域や保護者の皆様と共に、中・長期的展望を共有してまいります。



大貫志香 副校長

国立第八小学校



大山章博 校長

<教育目標>

○よく考える子

○共に生きる子【重点目標】

○最後まであきらめずやり抜く子

<学校経営目標>

○子供たち一人一人が、自分の良さを認めながら、他者となぐりをつなぐ、安全で安心な学校づくり

…全ての子供たちにとって、学びやすく過ごしやすい学校

<基本理念>

○学校は、子供たちのためにある。

○どの子にも居場所のある学校づくりをする。

○当たり前のことを積み重ね、自分で行動できるような文化をつくる。

○厳しさの中にも優しさ愛情をもった指導をする。

<令和6年度の重点>

【学びのセーフティネット】

○粘り強く自分で考え、自分で決めて行動できるようにするために、考え、表現する力を育む授業づくりを行う。

【育ちのセーフティネット】

○子供たち一人一人にとって、一日を安心して過ごせる場所をつくる。

・令和5・6年度研究奨励校【国立市教育委員会】



堀米和志 副校長

国立第一中学校



田中 圭 校長

国立第一中学校は本年度創立77年目を迎えます。多くの卒業生がこの学び舎を誇りとして活躍しています。伝統と誇りを基盤とし、生徒・保護者・地域社会から信頼され愛される学校を目指すため、「ONE TEAM 一中」として常に進化し続けていきたいと思っています。

1 教育目標

「たくましい、心豊かな人間をめざして」

1 自ら学び、考え、自主的な行動をしよう。

2 豊かな創造性を養おう。

3 思いやる心をもとう。

4 健康な心身をつくろう。

2 教育目標の実現に向けた令和6年度の重点

思いやる心をもち、安心して学びあえる環境で、自ら考え、正しく判断しながら自主的に行動できる一中学生

～本年度の重点～

○確かな学力の向上(教育目標「自ら学び、考え、自主的な行動をしよう。」)

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させ、将来に渡って役立つ「生きる力」を身に付け、持続可能な社会の創り手の育成をめざします。

○心の教育の充実(教育目標「思いやる心をもとう。」)

多様性を理解し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、相手を理解しようとする意識を高めます。

・令和5・6年度東京都人権尊重教育推進校【東京都教育委員会】



久保光弘 副校長

国立第二中学校



黒田宏一 校長

『子供たちの模範となり、丁寧に鍛え、成長率NO.1をめざす!』

～鍛え・乗り越え・考え・成長する国立二中～

1. 教育目標と重点目標

(1) 教育目標

たくましく現代に生き、平和で幸福な未来社会を創造する人間性豊かな生徒の育成をめざす

一、よく考え進んで学習する生徒

一、思いやりをもち協力する生徒

一、自らの心と体をきたえる生徒

一、正しく判断し実行する生徒

(2) 本年度の重点目標

『共に学び、共に助け合い、共に生きる「共学」「共助」「共生」の国立二中』

2. 本年度の学校経営の柱

(1) 主体的な学びを高める学習指導～共に学ぶ「共学」

(2) 規範意識を高め、自他を敬う生活指導～共に助け合う「共助」

(3) 互いを認め合う特別活動～共に生きる「共生」

(4) 特別支援教育の充実

(5) 組織的な学校運営の実現

(6) 指導力向上に向けた教員研修



長谷川美穂 副校長

国立第三中学校



山口 茂 校長

経営の基本理念

「学校とは生徒が「わかる喜びと学ぶ楽しさ」を味わえる場」でなくてはならない。

○授業力の向上に努めます。

○言葉と体験を重視した活動を行います。

【教育目標】

一「自ら考え正しい判断のできる人」

二「強い意志をもって実行できる人」

三「思いやりの心をもって助け合う人」

四「心身を整える人」

<本年度の重点>

○自ら考え正しい判断のできる人

～主体的に学び自ら考える生徒の育成～

教科横断的な授業に努め、深く考える力を育成

○思いやりの心をもって助け合う人

～励まし、支え合う生徒～

特別の教科 道徳を要とし、命と心の教育を重視

主体的に学び、深く考える機会を意図的・計画的に設定し実施する

○「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を通して「主体的・対話的で深い学び」の実現

○各教科で身に付けた力を生かす課題解決的な学習活動(「SDGs三本プログラム」の実践)

○授業力の向上～校内研究授業は外部講師を招聘して実施、教員相互の授業観察・協議の実施

○「特別の教科 道徳」の授業の充実

○一人一台タブレット端末を活用した授業の推進

○学校満足度調査を活用した魅力ある学校づくりの推進

○特別支援教育の推進

○教育課程実践検証協力校【文部科学省 国立教育政策研究所】

○コミュニティ・スクールのモデル校を生かした教育活動

○生徒会活動としての「カジュアルウィーク」「校則の見直し」の実施

○令和5・6年度国立市教育委員会研究奨励校



武内陽子 副校長

令和6年度 児童生徒数及び学級数 (令和6年4月7日現在)											
上段が学級数、下段が児童生徒数											
小学校	1・2・3・4・5学年で算出)	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援学級	合計	特別支援学級	通級指導学級
一小	学級数	3	3	2	2	2	2	3	17	3(巡回)	
	児童数	74	72	66	66	56	68	17	419	25	
二小	学級数	3	3	3	3	3	2	4	21	4(拠点)	
	児童数	100	85	82	79	83	69	27	525	20	
三小	学級数	3	3	3	3	3	3	3	21	1(巡回)	
	児童数	76	93	98	84	85	106	17	559	33	
四小	学級数	2	2	2	2	2	2	0	12	2(拠点)	
	児童数	51	43	50	62	50	75	0	331	23	
五小	学級数	3	3	3	3	3	2	3	20	4(巡回)	
	児童数	89	77	89	94	73	64	17	503	35	
六小	学級数	2	2	2	2	2	2	3	15	3(拠点)	
	児童数	53	59	51	66	62	69	19	379	38	
七小	学級数	2	2	2	2	2	2	4	16	1(拠点)	言語3クラス 算数1クラス
	児童数	37	48	45	50	43	43	28	294	29	60人 3人
八小	学級数	2	2	1	2	2	2	2	13	2(巡回)	
	児童数	43	49	29	49	51	41	13	275	12	
合計	学級数	20	20	18	19	19	17	22	135		
	児童数	523	526	510	550	503	535	138	3,285	215	

中学校							※学級編制利用のため、フリースクール等含まず。	
学校名	1学年	2学年	3学年	特別支援学級	合計	特別支援学級		
一中	学級数	4	4	4	2	14	(巡回)	
	生徒数	141	130	147	15	433	24	
二中	学級数	4	5	6	3	18	(拠点)	
	生徒数	157	180	203	17	557	27	
三小	学級数	4	3	3	1	11	(巡回)	
	生徒数	125	89	115	6	335	31	
合計	学級数	12	12	13	6	43		
	生徒数	423	399	465	38	1,325	82	

児童数計 4,610人
児童・生徒数は学級編制上の人数

50th

くにたち中央図書館が開館50周年を迎えました

くにたち中央図書館は昭和49年に開館し、令和6年5月で50周年を迎えます。
これを記念して、たくさんのイベントを計画しています。
ぜひ、図書館にお越しください。



国立市出身絵本作家

降矢ななさん描き下ろし

オリジナルしおり配布

国立市ご出身で著名な絵本作家の降矢ななさんにご協力いただき、開館50周年オリジナル木製しおりを作成しました！
使用した木材は、友好交流都市協定を結んでいる秋田県北秋田市の秋田杉です。

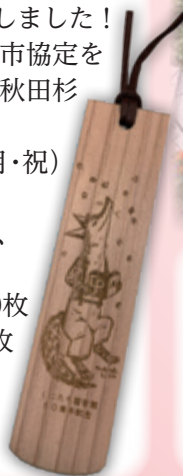
期間 5月5日(日)、6日(月・祝)

場所 中央図書館・北分館

対象 本をお借りになった方、
先着順

校数 中央図書館：各日200枚
北分館：各日50枚

※今後のイベントでも配布を
予定しています。



メッセージツリー展示 ～あなたの図書館へのメッセージをお寄せください～

中央図書館でメッセージツリーを展示します。図書館に梅の形をしたカードをご用意しています。
皆様の想いでたくさんの花を咲かせましょう。

募集期間 4月1日(月)～5月31日(金)

募集場所 中央図書館・北分館・各分室

提出方法 カウンターにお持ちいただくか、中央図書館・北分館設置の提出箱に投函

展示期間 5月1日(水)～5月31日(金)

今後のイベント予定

○作家講演会開催！！

- ・国立市出身絵本作家 降矢ななさん
- ・国立市を舞台とした『謎解きはディナーのあとで』の著者 東川篤哉さん

○16ミリフィルム映画

○図書館スタンプラリーを
まわって限定缶バッジを
手に入れよう！

詳細は館内掲示や図書館
HPにて、随時お知らせ
いたします。



限定缶バッジ
(デザイン:降矢なな)

中央図書館 ☎ 576-0161

令和5年度

東京都教育委員会職員表彰

国立第四小学校

牧野 陽一郎 校長

国立第一小学校及び国立第八小学校の校長として、教職員や児童、保護者をはじめ地域団体とも協力して周年行事を実施し、信頼と絆を深めました。国立第四小学校で校長を務めた際には、国立第一小学校、国立第八小学校でも指定された国立市教育委員会研究奨励校として、特別活動のさらなる充実を目指し「たてわり班活動」を実施し、他学年との交流の充実を図ることで児童のより良い成長を促しました。また、国立市立小・中学校長会会長を務めるなどリーダーシップを発揮し、東京都及び国立市の学校教育の発展と児童の健全育成に力を尽くし、多大な貢献をしました。

「くにたちブックマラソン2024」が始まります

6月1日(土)から「くにたちブックマラソン2024」が始まります。より多くの子どもたちに取り組んでもらえるよう、今年度も幅広いジャンルの本を選んでいきます。

昨年度は、小学生向けに3種類(低・中・高学年用)、低学年50冊、中・高学年各20冊の本が掲載されたシートを用意しました。シートに掲載された本を読み終えるたびにスタンプを押していき、様々な本の読破に挑戦してもらいました。リストの本を全冊読んだ126名の方には、図書館から「読書名人」の賞状を授与しました。

昨年度同様、シートは市立小学校を通じて配布するとともに、市内各図書館、分室、公民館でも入手できます。今年度もぜひ挑戦してみてください。

学校リサイクルの報告

例年実施している学校図書のリサイクルを令和5年度も実施しました。

図書館で除籍された児童図書の再利用を目的とし、児童教育関係の団体様等を対象に、無償配布を行っています。

当日は17の団体様にお越しいただき、622冊のリサイクル本を提供しました。

教育相談・就学相談を土曜日に行います (事前予約制)

相談日時 第2・4土曜日(祝日を除く)午前9時～正午(教育相談は午前9時30分～)、午後1時～午後5時

開始日 令和6年4月27日(土)～ **場所** 国立市総合教育センター

教育相談	就学相談
「友達関係がうまくいかない」等の悩みについて、プレイセラピーやカウンセリングを行いながら、専門の相談員と一緒に考えていきます。	「発達がゆっくりで、学校生活が心配」等の不安や悩みに関して、お子さまにとって適切な就学先や教育環境を専門の相談員と一緒に考えていきます。

申込方法 ご希望の相談の担当まで事前にお電話にてご連絡ください。

国立市総合教育センター **教育相談担当 ☎ 576-2109、就学相談担当 ☎ 571-7855**

受付時間 平日午前9時～正午(教育相談担当は午前9時30分～)、午後1時～午後5時

教育委員に就任(再任)しました

(略歴)

昭和51年3月 東京藝術大学音楽学部
器学科卒業
昭和51年4月 桐朋中学校高等学校教諭
平成10年4月 バークリー音楽大学留学
平成11年3月 帰国
平成31年3月 桐朋中学校高等学校退職

(任期)

令和6年4月1日～令和10年3月31日



大野 孝儀

令和7年度 就学相談受付期間について

令和7年度に小学校に入学するにあたり、市立小学校における特別支援教室、通級指導学級(言語、難聴)及び特別支援学級での教育上の支援、または市外の特別支援学校に就学をご希望の方は、就学相談をお申込みください。

受付期間 令和6年4月1日(月)～令和6年7月31日(水)まで

申込方法 電話または電子申請によりお申し込みください。

電話 国立市総合教育センター **就学相談担当 ☎ 571-7855**

受付時間 平日午前9時～午後5時まで(正午から午後1時を除く。)

電子申請 LoGo フォーム(右記二次元コード)よりお申し込みください。



令和6年5月14日(火)に就学相談等に関する「教育支援説明会」を開催予定です。詳細は、市HPまたは4月に在籍園から配布されるチラシをご覧ください。

道徳授業地区公開講座・セーフティ教室

国立市立小・中学校では道徳の授業、セーフティ教室を公開します。

・道徳授業地区公開講座

授業を公開することにより開かれた学校を推進し、意見交換を通して、家庭・学校・地域社会が一体となった道徳教育を推進することをねらいとして実施します。

※詳細は、各学校にお問い合わせください。

・セーフティ教室

第一部では非行防止や犯罪の被害に遭わないための授業を行い、第二部では非行や犯罪から児童・生徒を守る取り組みについて、保護者、地域住民、教員、関係機関担当者等で意見交換を行い、地域での実践等について協議します。



▲日程一覧

教育委員会の動き

教育委員会は、前号でお知らせした以降、3月から4月まで定例会を2回開催いたしました。

(主な議案)

・国立市立学校運営協議会規則案について

・国立市立中学校の施設の開放に関する条例施行規則の一部を改正する規則案について

教育総務課

中学校用教科書を展示します

今年度は令和7年度以降に市立中学校で使用する教科書を採択します。採択にあたり、5月中旬から7月初旬までの間、中央図書館、公民館及び南市民プラザで中学校用の教科書を展示予定です。場所によって展示期間が異なるため、詳細は国立市ホームページにて5月上旬頃に掲載します。

教育指導支援課

【令和6年度 第1回総合教育会議】6月25日(火) 午後1時～ 市役所3階 第4会議室 傍聴可 教育総務課

ーこの広報紙は再生紙を使用していますー